

普及活動情勢報告（平成29年8月分）

中央東農業振興センター農業改良普及課

夏場の高温対策に向けて～ニラの現地検討会を開催～



7月31日、野市地区において現地検討会を開催し、JA土佐香美ニラ生産者研究会の9名が参加しました。

管内では、高温による葉先の痛みが問題となっています。そこで、今年度は高温対策として遮熱ネットの試験ほを設置しています。各生産者のほ場と試験ほで現地研修を行いました。試験ほでは、「体感温度が違う。ネットがある方が涼しく感じる。」と効果を実感していました。

農業改良普及課からはGAPやネギアザミウマの発生状況について、JAからは今後の栽培管理等について説明しました。

今後、試験ほの温度データや生育状況等をまとめ、結果をニラ部会で報告する予定です。

農業改良普及課は、高温対策の効果を検証し、ニラの品質向上に向けて支援していきます。

地域や産地の魅力を発信してきました！～農業担い手育成センター座学(産地紹介)～



7月20日、長期研修生9名に対し、産地提案書による新規就農者受け入れについて、南国市の生産農家、市役所と共にPRを行いました。農家は、各品目の産地の状況や特徴など生産から出荷に至るまでの流れについてわかりやすく説明しました。農業改良普及課と市は、農家での研修から就農までの支援体制などについて説明しました。研修生は、南国市の品目に興味が沸いたようで、農家に対して積極的に質問をするなど有意義な時間を共有できました。

農業改良普及課は、新規就農研修希望者についての情報などを、受入農家や部会、関係機関と共有し、新規就農者の確保・育成に向けて支援していきます。

JA土佐香美ナス部会の栽培講習会を開催しました！



7月19日、JA土佐香美ナス部会栽培講習会を開催し、18名が参加しました。病害対策や栽培管理の基本技術の確認、かん水と光合成を絡めた環境制御の有用性、タバコカスミカメの増やし方とハウスに入れる際の注意点、刺無しクレオメについて説明しました。

参加者からは病害対策としての太陽熱消毒の方法と効果について質問もあり、次作に向け関心は高かったです。

農業改良普及課は、JA土佐香美ナス部会や関係機関と連携して、現地検討会や勉強会などで情報発信を行い、栽培技術向上を支援していきます。

中央東地区環境制御技術普及推進会議を開催しました！



7月31日に香美農林合同庁舎会議室にて、中央東地区環境制御技術普及推進会議を開催し、32名（うち農家7名）が参加しました。

会議では、重点プロジェクト課題の進捗状況を説明した後、農業改良普及課や農業技術センター、農業担い手育成センターから環境制御技術の試験結果を説明し、次作に向けて環境制御技術をどのように普及していくのか協議を行いました。

参加者からは、成果を出すには「人材と時間を集中すべき」、「出荷場で噂になるくらいの増収、品質が必要」等の意見が活発に出て、今後の取り組みに生かせる会となりました。

農業改良普及課は、各JAや関係機関と連携して、様々な機会をとらえて環境制御技術の情報発信を行い、普及と増収を支援していきます。

南国市3JA シシトウ部会の合同会議を開催しました！！



7月19日、JA南国市南部営農センターにおいて、南国市3JAのシシトウ部会長、女性部役員、園芸連、市、各JA職員が出席し、平成29年度の生産者大会のテーマ、産地ビジョン作成の検討や高知県版ガイドラインに沿ったGAPの取り組み等の情報交換を行いました。

農業改良普及課は、シシトウ産地の現状と課題および基盤整備後の営農計画（農業生産額のアップ）を踏まえた産地ビジョン（案）を提案し、賛同が得られました。今後は、各部会において協議し、合意形成を図り産地ビジョンを確定していくことになりました。

農業改良普及課は、JA各部会、関係機関と連携してビジョンの策定や部会活動を支援していきます。

「夢みかん」栽培講習会の開催 ～こだわりミカン生産に向けて～



8月18日、JA土佐香美露地みかん部会が「夢みかん」栽培講習会を開催し、生産者6名が参加しました。

「夢みかん」とは、マルチ栽培を行い共選出荷した露地ミカンで、高い品質基準をクリアしたブランド果実です。

今回の講習会では園地巡回を行い、果実内容やマルチの設置時期を確認しました。講習会は毎月開催しており、これにより生産者の園地状況や果実内容に応じたこまめな管理意識が高まっています。

農業改良普及課は、今後もJAや部会と連携し、こだわりのブランドミカン生産への支援を行っていきます。

平成 29 年度 はちきん農業大学 地域講座開催中



7月6日、13日、24日「はちきん農業大学・地域講座」を中央東農業振興センター大会議室にて行いました。のべ35名の受講生が参加しました。経営管理講座では「未来投資戦略から見る農業政策の動向」等について、労務管理の基礎知識講座では「雇用するうえで知っておくべきこと」等について、また新技術講座では「植物生理の基礎」についてそれぞれ講義を実施しました。どの講座も「参考になった」、「労務管理にすぐに取り入れてみる」などそれぞれの経営にあわせた感想が寄せられました。

農業改良普及課は、今後も講座などを通じて受講生の経営発展に向けて計画的に支援していきます。

経営改善志向農家との面談



南国市では近年、シシトウの生産量が減少傾向にあります。産地を元気にするためには、農家の方たちに儲けてもらう必要があると考え、モデル農家を選定し、重点的に支援をしていくことになりました。

今回は、最初の一步として、JAとともに選定農家とH29園芸年度の反省、H30園芸年度の目標・改善方策等について個別に面談を行い、次作に向けた目標と改善計画を立てました。

今後はモデル農家の目標達成のために栽培技術等の指導を行うとともに、産地全体が盛り上がるよう部会活動を支援していきます。

～集落を守る仕組みづくりに向けて～ 第1回香美市集落営農塾



8月2日、香美市で第1回目の集落営農塾が開催され、関係機関等を含めて58名が参加しました。

市は、昨年度に塾で視察した先進組織の参考ポイントについて説明を行い、農業改良普及課は、組織化と組織のステップアップに向けた取組について説明しました。

次に、農山村地域経済研究所の楠本氏が、集落営農による元気な地域づくり等について講演を行った後、管内2組織からの事例発表と講師を交えてのパネルディスカッションを行いました。

アンケート結果によると、9割の方が理解され、4名が「集落営農を前向きに考えていきたいので協力してほしい」、5名が「共同機械等を導入したい」と回答するなど、関心が高まりました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と協力して組織化及び組織のステップアップ等を支援していきます。

